

## 1 めざす学校像

- ① 授業力・マナー・課外活動のバランスがとれた極めて上質の普通の学校
- ② 生徒が伸び伸びと個性を活かせる学校

## 2 中間期目標

## 1、楽しい学校をめざす。

- (1) あいさつの大切さを語り、誰にも気持ちよいあいさつを定着させる
- (2) 高学年が下学年を配慮する縦割り文化を再構築するための登校指導

## 2、学習指導の点検

- (1) 説明責任を果たすための通信・校長ブログの励行
- (2) 授業研究の積み重ねによる専門的な授業づくり
- (3) 話す・聞く・書く・歌う、子どもの表現力の育成
- (4) 子どもたちへ具体的な評価を明確に示す
- (5) 2020年入試制度改革を見すえた「思考力・表現力」の育成をめざした授業・課外活動の工夫

## 3 学校自己評価のまとめ

## (1) 学校運営・教育活動への取り組み

- ・少人数学級の中で、児童と教師の濃密な人間関係を育むことができた。さらに日常生活とともに、学校行事・諸活動を通して、ペア学級、学年を越えた人間関係を育み、多くの人と関わることによって、自分の幅を広げ、豊かな人間性を育む努力をした。
- ・すべての授業・学校での活動全体を通して、考える力を育むことができた。授業では、思考力とともにその思考のもととなる確かな知識を全ての子どもたちに保証した。
- ・日常生活、授業の中で基本的な生活習慣、マナーの徹底をめざした。
- ・学年主任を中心に、学級・学年の問題に対して早期に指導體制を立ち上げ対応することができた。問題によっては、学校と保護者が問題を共有し解決を図った。
- ・活動内容の見直しと充実を図るために、規約の改正等を行い、迅速かつ明確な目標をもった各種委員会活動を企画することができた。
- ・課外活動の充実を図り、わくわくホームやチアリーディングに加え、ミュージッククラブ、バイオリン教室を開講し、子どもたちの放課後の楽しい活動を設定している。

## (2) 小学校の施設、設備、遊具等の安全点検、改善のための取り組み

- ・施設、設備、遊具等の安全を、毎学期に点検・確認し、危険の予測される部分については、継続的に業務課と連携をとって速やかに改善する体制をとった。

## (3) 施設改善の取り組み

- ・児童図書の実数を充実を図った。
- ・中学校と併用のパソコンルームを刷新し、プログラミングをはじめとするICT活用の推進を行った。

4 本年度の取り組みおよび自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み・内容	評価指標	学校評価
1 楽しい学校をめざす	<p>(1) あいさつのたいせつさと定着</p> <p>(2) 登下校指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつすることの意味を伝える学級指導</li> <li>・下学年を気遣うことができることのすばらしさを伝える。</li> <li>・高学年を敬い、あこがれが持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童のあいさつの頻度。あいさつのレベル評価。</li> <li>・登校・下校時の指導場所や頻度</li> <li>・服装のみだれの確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよいあいさつができてきている子どもをみんなで評価することで、各学級のあいさつ名人も登場するようになった。外部からも評価をいただけるようになった。</li> <li>・登校時に桜井駅及び171横断歩道で指導を引き続き行った。高学年を先頭に2列で並んでの登校が定着した。</li> </ul>
2 学習指導の点検	<p>(1) 通信の励行</p> <p>(2) 集中授業研究会の実施</p> <p>(3) 思考力・表現力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の願いと理想を伝える。</li> <li>・教師力の向上、指導力のアップ</li> <li>・「書く力」を育成。最終成果としての卒業論文の作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信発行率。保護者の満足度。</li> <li>・相互授業参観の実施回数と内容の評価</li> <li>・確かな学習の積みあげの頻度。成果の可視化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのクラスがほぼ毎日発行している。子どもにも読ませることで、教師の願いと理想を共有することができた。</li> <li>・お互いの授業を相互評価し合い、助言をもとに授業改善を繰り返すことで、自身の授業力アップが図られている。</li> <li>・6年生が5000文字程度の卒業論文をパソコン室で作成し、お互いに読み合うことができるようにした。</li> </ul>

## 5 学校関係者評価

- 分かりやすく工夫した授業が学力向上につながっているようで、外部評価も高まっている。
- 教職員の工夫が生かされ、個々の児童を見つめた指導ができていているように感じる。児童の顔が生き活きとしていて、積極的に発言できる児童が増えたように思う。
- 教員研修が充実していて、教師の力量向上が全ての世代の教員にみられる。
- 入試制度の改革によって、特に重要となる学力として「思考力・表現力」の育成及び「書く力」の育成に共感している。その成果として5000文字程度の6年生の卒業論文づくりは良い活動である。
- 登校時・運動会や委員会活動、児童会活動において、上級生の積極性がみられ、リーダーシップがよくできている。

## 6 財務状況

別紙参照